

2014年6月

各位

日油株式会社
油化事業部

一般社団法人近畿化学協会から「化学技術賞」を受賞

この度、当社油化事業部は、「ナローカット軽油用新規低温流動性向上剤の開発」で一般社団法人近畿化学協会から (<http://www.kinka.or.jp/>) 平成25年度第66回「化学技術賞」を受賞いたしました。

「化学技術賞」は、「化学に関連する研究及び技術で顕著な業績があると認められたもの」を対象に授与されます。

表彰式は、2014年5月23日（金）13時より大阪科学技術センターにおいて執り行われました。

以下に受賞しました研究の概要を紹介いたします。

記

賞名	化学技術賞
題目	ナローカット軽油用新規低温流動性向上剤の開発
内容	<p>当社は、従来添加効果が得られ難かったナローカット軽油※に対しても優れた性能を示す、低温流動性向上剤の開発・製品化に成功しました。</p> <p>ディーゼル機関の燃料として用いられている軽油の主成分は炭化水素であり、寒冷下において長鎖n-パラフィンが析出します。この長鎖n-パラフィンが平板状に結晶成長し、燃料フィルターの閉塞や軽油そのものの固化といった問題を生じるため、これら問題を解決することを目的として軽油には低温流動性向上剤が添加されています。</p> <p>同製品は灯油留分確保に有効な手段として高い評価を受けております。今回、これら業績が認められ「化学技術賞」の受賞に至りました。</p> <p>※ナローカット軽油：灯油供給量の増産等により、沸点範囲が狭くなった軽油</p>

以上